

特集
第46回町民体育祭

各学校運動会
小学校陸上記録会・老人スポーツ大会
シマの話題

その1(サトウキビ生育状況 ほか)
その2(長島稔CD発売記念ライブ ほか)

喜界町職員等の給与等の状況
民生委員児童委員だより

新連載 シマの入り江と潮だまり

喜界歌壇・戸籍の窓

島に咲く花・今月のわんこ・編集後記

広 報



きかい

No. 497

11

平成20年
(2008)

5年い組 朝原 司



5年い組 朝原 司
名前



6年ろ組
名前 森みなみ

6年ろ組 森みなみ



1年い組
名前 はしぐちえいすけ

1年い組 はしぐちえいすけ



3年ろ組
名前 岡本大志

3年ろ組 岡本大志

汗ばむ陽気の秋空に
セミの声を聞きながら……

表紙説明

九月から十月にかけて、各種運動会が開催された。小春日和というにはひと月ほど早い、十月になっても厳しい残暑であった。

表紙は、湾小運動会プログラムの表紙を飾った絵である。大胆なタッチで暑さを吹き飛ばし、生き生きとした躍動感が伝わってくる。

運動会、ウヤンコウ、駅伝が終われば、シマは製糖期を迎え、冬の足音が聞こえてくる。

第46回

町民体育祭

湾Aが2年ぶり優勝旗奪還!!

Bブロック優勝は早町、湾Cは34点の大躍進も最下位に沈む

「みなぎる力 あふれる友情 競う心をひとつに 輝け島人魂 今ここに！」(作:志戸桶小5年、園田裕二郎君)を大会スローガンに、第46回町民体育祭が10月12日、町総合グラウンドで開催された。10月とはいえ汗ばむ陽気のもと、11のチームが地域の威信をかけて熱戦を繰り広げた。

Aブロック優勝はトラック競技を中心に安定した強さを見せつけた湾Aチームが輝き、準優勝には団体及びフィールド競技10種目において1位6種目、2位2種目と堅実に得点を重ねた上嘉鉄が続ぎ、志戸桶・佐手久チームが第3位に食い込んだ。また、Bブロックの優勝は早町チーム、第2位は阿伝チーム、第3位は小野津チームであった。なお、選手たちを鼓舞する注目の応援合戦は、気合い満点の応援をみせた荒木チームが1位をもぎ取った。

▲上嘉鉄小学校の鼓笛隊入場により、いよいよ町体のはじまりだ！指揮をとるのは6年生の寿健也くん



▲選手宣誓は坂嶺チーム 森 卓人選手



▲真剣勝負の前に選手・観衆を和ませてくれた幼稚園児たちのお遊戯



▲応援合戦で優勝した荒木チーム「気合い入りまくり」でした。押忍！



▲にこやかに炬火を掲げるは上嘉鉄チーム 梅 龍飛君



▲めげせ！ホールインワンで競技の火ぶたが切って落とされた。「スティックを反対に持つてもこの距離は外しませんよ」





▲効率的に玉入れをした湾Aチーム、断トツ1位
観衆からも「玉の密度が違う」と驚嘆の声



▲上嘉鉄チーム友岡芳成選手の猛追をしのぎ1着入線した
湾Cチームの松元純也選手



▲ハイ、選手が参ります。危ないので白線
まで下がって応援してください。
(駅員風に)



▲スピードと持久力の両方が要求される1500M走(中学男子)



▲底力カラを発揮した「上嘉鉄綱引き軍団」見事優勝!



▲「結婚指輪が傷つかないようにバトンはそつと渡してね」そのスキについて喜禎運送店、
嶺新一選手が追い抜いてゆく



▶歴代選手たちの汗と涙が染みこ
んだ「大優勝旗」を町長から受け
取る湾Aチーム、幸里菜子選手



▲チームの総合力が試される混成リレー、この競技を最後
に熱戦に終止符が打たれる

(※個別成績は次ページを参照)

第46回町民体育祭各種目記録

●めざせ！ホールインワン

1位	湾	22打
2位	湾C	22打
3位	坂嶺	22打

●放とうボール

1位	湾	3分06秒6
2位	阿伝	3分31秒7
3位	坂嶺	3分32秒3

●二人仲良く

1位	上嘉鉄	40秒9
2位	湾	41秒4
3位	赤連・池治	44秒4

●玉入れ

1位	湾	52
2位	上嘉鉄	34
3位	阿伝・早町	29

●輪投げ

1位	荒木	2分09秒8
2位	上嘉鉄	2分10秒7
3位	赤連・池治	2分11秒4

●運俵りレー

1位	上嘉鉄	38秒02
2位	志佐	38秒09
3位	早町	39秒10

●綱引き

1位	上嘉鉄	
2位	荒木	
3位	坂嶺・小野津	

●ナイス！ストライク

1位	上嘉鉄	1分18秒5
2位	志佐	1分43秒8
3位	湾	1分51秒0

●安全運転

1位	上嘉鉄	1分28秒9
2位	志佐	1分41秒2
3位	湾	1分53秒3

●むかで競争

1位	上嘉鉄	1分09秒4
2位	湾C	1分39秒4
3位	荒木	1分39秒7

●100m走小学男子

1位	吉沢凜太郎	湾	14秒6
2位	山倉光貴	湾C	14秒9
3位	和田直弥	荒木	15秒0

●100m走小学女子

1位	榮田琴美	上嘉鉄	14秒9
2位	豊志乃	赤連・池治	15秒3
3位	登千慧	志佐	15秒4

●100m走中学男子

1位	若松雄	早町	12秒5
2位	松元翔太	湾C	12秒6
3位	龍田翔	湾	13秒0

●100m走中学女子

1位	松村清来	赤連・池治	14秒5
2位	実田未沙	上嘉鉄	14秒8
3位	重村星	湾	15秒1

●800m走中学女子

1位	美代さつき	湾	※2分38秒3
2位	浦口友華	湾	2分40秒6
3位	園田樹子	赤連・池治	2分42秒7

●100m走高校男子

1位	松元純也	湾C	12秒3
2位	友岡芳成	上嘉鉄	12秒4
3位	富裕太郎	湾	12秒6

●100m走高校女子

1位	喜浦佳奈子	小野津	15秒3
2位	幸里菜子	湾	15秒4
3位	山元由紀子	湾C	15秒5

●100m走20歳代男子

1位	富田健太	上嘉鉄	12秒0
2位	古謝太志	赤連・池治	12秒2
3位	竹下昇	志佐	12秒5

●100m走20歳代女子

1位	前泊佑香	上嘉鉄	14秒7
2位	乾千尋	湾	15秒4
3位	勝間千明	赤連・池治	16秒2

●100m走30歳代男子

1位	上地徳人	湾	12秒7
2位	吉田圭志	阿伝	12秒9
3位	豊田純司	早町	13秒0

●100m走30歳代女子

1位	廣瀬信子	湾	15秒6
2位	角晴美	赤連・池治	16秒2
3位	佐久田百代	湾C	16秒3

●100m走40歳代男子

1位	向井康治	志佐	13秒0
2位	岡本道也	湾	13秒2
3位	大高佳男	上嘉鉄	13秒7

●100m走40歳代女子

1位	石原良江	早町	16秒0
2位	中山宏江	湾	17秒3
3位	川畑由美子	志佐	17秒7

●100m走50歳代男子

1位	福盛昭人	志佐	14秒1
2位	福原安成	荒木	14秒4
3位	肥後剛	湾	14秒5

●400mリレー小学男子

1位	上嘉鉄	1分06秒3
2位	湾	1分06秒4
3位	荒木	1分06秒9

●400mリレー小学女子

1位	湾	1分08秒2
2位	上嘉鉄	1分08秒9
3位	赤連・池治	1分09秒7

●800mリレー中学男子

1位	湾	1分52秒7
2位	上嘉鉄	1分58秒7
3位	早町	1分59秒2

●400mリレー中学女子

1位	湾	1分00秒6
2位	上嘉鉄	1分00秒9
3位	赤連・池治	1分02秒6

●800mリレー高校男子

1位	湾	1分45秒8
2位	湾C	1分47秒1
3位	赤連・池治	1分48秒1

●400mリレー高校女子

1位	湾	1分02秒7
2位	上嘉鉄	1分03秒0
3位	赤連・池治	1分04秒1

●800mリレー青年男子

1位	湾	1分48秒3
2位	早町	1分50秒3
3位	志佐	1分51秒0

●400mリレー青年女子

1位	湾	1分03秒4
2位	上嘉鉄	1分04秒7
3位	早町	1分06秒1

●1000mリレー混成男子

1位	湾	2分14秒2
2位	上嘉鉄	2分17秒8
3位	志佐	2分20秒9

●600mリレー混成女子

1位	上嘉鉄	1分35秒1
2位	志佐	1分36秒6
3位	赤連・池治	1分37秒0

●1500m走中学男子

1位	渡秀人	湾	4分43秒6
2位	撰靖志	湾	4分44秒2
3位	正木勇太	湾C	4分44秒8

●1500m走高校男子

1位	石原久弥	湾	4分35秒3
2位	岩崎雄	荒木	4分46秒1
3位	坂元洸哉	志佐	4分46秒3

●1500m走一般男子

1位	前島将太	上嘉鉄	※4分35秒6
2位	松田健嗣	赤連・池治	4分49秒5
3位	吉田圭志	阿伝	5分06秒9

●応援合戦

1位	荒木	140
2位	上嘉鉄	132
3位	早町	126



2011年、前年上回る収量達成確実

製糖開始は12月前半予定もアブラムシ被害を懸念
 ハンダ（アサガオ科を中心とした雑草）未防除のホ場も散見

生和糖業株式会社（西一臣工場長）によると、平成20/21年サトウキビの生産見込み状況は9月末調査段階で、八九、一〇九ト（ハーベスターロス考慮）となっており、順調に生育すれば前年以上の九五、〇〇ト達成も視野に入っているという。

また、同社原料係の三浦功也係長は「アサガオやヤブガラシといった雑草が目立つホ場が散見される。収量に深刻な影響があるので丁寧な防除が必要」と訴える。

西工場長は前年以上の高収量が予想される理由を「昨年同様に台風がなかったため株出の根がしっかりして欠株も少ない。昨期と比べて生長時期の降水量が多かったことも大きな好材料」と説明した。

製糖開始時期について西工場長は「10月末時点でのホ場ブリックスは気候の寒暖差が大きく、前年の17・89を上回る18・11となっており、搬入開始は前年より早まる可能性が高い。しかし、アブラムシの被害状況や、収穫前に降水量が多くなれば糖熟不足となるので予断を許さない。早すぎる梢頭部カットも糖熟低下を招くので控えて欲しい」と話した。

一方、懸念材料としては「前年に被害をもたらしたカンシヤワタアブラムシの大発生が懸念される。小さな台風が一回でもあれば解消されるのだが、収穫直前は残留農薬の問題もあるので手遅れになる前に防除すべき。アブラムシは葉の裏にいますので、防除方法は噴霧方式より粉剤散布が効果的である。会社としてもより良い防除方法を考えているところ」と付け加えた。



雑草に覆われたホ場
 単収低迷の直接的原因となる

喜界町教育文化講演会 「喜界島の歴史にまつわる よもやま話」開催

第一線の三研究者が講演

近年、城久遺跡群により日本中の歴史・考古学者の注目を集めている本町の歴史に関する講演会が10月18日、中央公民館で開催された。

それぞれ第一線で活躍する研究者が喜界島の歴史を語るにあつて、会場には約百人の聴衆が詰め掛け、熱心に耳を傾けた。

最初に登壇した東京大学大学院情報学環の石上英一教授は、自身の専門外である奄美の歴史に注目した経緯を紹介した。つづいて江戸時代に薩摩藩から焼却処分されたとされる奄美の文書や系図は大量に残っており、一時預かりしたものや複写本が鶴丸城火災の際に焼失したことにより誤解が生じたことと説明があつた。このことから、平成12年に発行された「喜界町史」に使用されなかった資料も多数存在しており、若い人たちが先輩の地元研究者につづいてこれらの資料を発掘し、町の発展とともに新たな町誌を編さんしつづけることが必要と話した。

つづいて登壇したラ・サール高等学校の永山修一教諭は「謎の11世紀」と題し、奈良・平安初期の朝廷が喜界島を始めとす

南の島々をどの程度認識していたかについて話した。喜界島について古文書によれば、「キカイ」を指す場所は、現在の喜界島、硫黄島、南西の十二の島々の三通りあつたと説明した。また、キカイの「キ」は鬼・貴・喜の三種の文字が使われたことも混乱する要因となっていると付け加えた。城久遺跡については、3つのピークがあり、それぞれ9・10世紀、11世紀後半から12世紀頃、13・14世紀頃であつたと説明した。そこで、9・10世紀には城久遺跡からの出土品により太宰府の最先機関が置かれていたとされ、その命により奄美島を征伐するなどしたと記録も残るが、12世紀には天皇の命が及ばない所とされ、13世紀には琉球や南蛮と並び記されて宋人（今の中国人）ととも

に倭寇として海賊となり、また広く交易もしていたとされる。しかし、11世紀は不明な点が多く謎であると説明した。これからのさらなる調査が待たれ、これらの謎が解明されると、大きく歴史が塗り変わる可能性があることを示唆した。

最後に登壇した琉球大学法文学部の池田榮史教授は、平家の落武者伝説が残る自身も調査中の七城跡（本誌10月号7ページ参照）、それを追った源氏の伝説が残る雁股の泉、喜界島征服を奄美征服の象徴と考えた琉球

尚徳王の侵攻伝説などについて触れながら、喜界島の歴史が持つ不思議な魅力について説明した。

特に、現時点で奄美史の見直しが必要となつた城久遺跡群について、最初は文書等に記録するだけの保存方法であり記録後は畑や道路にされたが、遺跡の重要性が認識された今では、国家予算により正式に記録保存されるようになった。出土品の8割が島外産であることから、古代は大和朝廷、中世は琉球王国、近世は江戸幕府での重要な役割を果たした可能性を指摘した。

また、古代から中世においては城久地区のみならず、港や港と城久をつなぐ交通網など、喜界島全体が遺跡として認識されるべきと説明した。



喜界島の歴史について語る石上教授

残暑厳しい秋空に 各学校で大運動会

くひまわり第一・二保育園は記念すべき初の運動会開催

湾小学校 (10月5日)

▲大玉ころころ
「押し押しGo!Go!」



▲「澄み切った空に向かって投げろ！」

阿伝小学校 (10月6日)

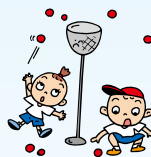


▲キマッタ! 「結いの花」が咲きました



▲輪は小さくても白熱した「玉入れ」

湾幼稚園 (10月19日)



▲「やったー! いっちゃーく！」



▲阿伝学校の運動会といえば消防規律訓練
「あずみさんは敬礼してるのかな? 眠いのかな?」

▲「わーわーわー!」
ゆれるーおちるー!」



第二保育園 (10月19日)



▲「まけないぞ！」



▲「かわいい箱入り娘です」

第二保育園 (10月26日)

▲「ようしょ、あつまごこ」



▲躍動感たっぷりに
「よさこいソーラン節」



▲いちばん軽いお母さんは?

「昭和の記録を抜こう!!」

喜界町小学校陸上記録会開催

「第43回喜界町小学校陸上記録会」が10月16日、男子103人、女子85人が参加して町グラウンドで開催された。結果は次のとおり。

- 【5年男子100m走】
 - ①後藤 舜平 (湾) 15秒2
 - ②岩崎 大雅 (荒) 15秒3
 - ③園田裕二郎 (志) 15秒3
- 【5年女子100m走】
 - ①廣 美奈代 (上) 15秒7
 - ②賀 ももか (湾) 15秒8
 - ③東園 萌里 (上) 16秒2
- 【6年男子100m走】
 - ①吉沢凜太郎 (湾) 14秒7
 - ②龍田 優斗 (湾) 14秒8
 - ③重村 陸 (湾) 14秒9
- 【6年女子100m走】
 - ①榮田 琴美 (上) 15秒0
 - ②豊 志乃 (湾) 15秒1
 - ③登 千慧 (志) 15秒1
- 【5年男子走り幅跳び】
 - ①園田裕二郎 (志) 367cm
 - ②岩崎 大雅 (荒) 348cm
 - ③岩 卓 (上) 341cm
- 【5年女子走り幅跳び】
 - ①廣 美奈代 (上) 336cm
 - ②東園 萌里 (上) 333cm
 - ③角 美佳 (湾) 308cm
- 【6年男子走り幅跳び】
 - ①岩崎 尽 (荒) 384cm
 - ②山倉 光貴 (湾) 379cm
 - ③吉沢凜太郎 (湾) 369cm
 - ③坂元 裕帆 (志) 369cm

- 【6年女子走り幅跳び】
 - ①藤原 優花 (坂) 383cm
 - ②小田 樹里 (小) 371cm
 - ③榮 佳恋 (志) 367cm
- 【5年男子走り高跳び】
 - ①住岡 真至 (湾) 115cm
 - ②柳 慧士郎 (小) 110cm
 - ③佐藤 寿樹 (阿) 110cm
- 【5年女子走り高跳び】
 - ①山元ゆなの (湾) 105cm
 - ①梶原あかり (上) 105cm
 - ③時本 茂花 (湾) 100cm
- 【6年男子走り高跳び】
 - ①重村 陸 (湾) 132cm
 - ②濱川光太郎 (上) 120cm
 - ③川畑太郎 (志) 115cm
 - ③中山 涼太 (小) 115cm



会場から大きな注目を浴びた濱川光太郎くん (上小)

- 【6年女子走り高跳び】
 - ①榮田 琴美 (上) 121cm
 - ②岩元 玲奈 (湾) 115cm
 - ③操 珠里 (志) 110cm
- 【6年男子60mハードル】
 - ①黒葛原 慧 (上) 10秒3
 - ②龍田 優斗 (湾) 10秒5
 - ③加島左右憲 (志) 10秒7
- 【6年女子60mハードル】
 - ①登 千慧 (志) 11秒4
 - ②与謝野直美 (湾) 11秒9
 - ③森 穂波 (湾) 12秒4
 - ③深水優希奈 (湾) 12秒4

- 【5年男子400mリレー】
 - ①湾小 (後藤舜平、岡本直道、住岡真至、黒田祥平) 1分05秒20
 - ②湾小 1分08秒02
 - ③早町小 1分12秒01
- 【5年女子400mリレー】
 - ①上嘉鉄小 (廣美奈代、東園萌里、廣知子、梶原あかり) 1分06秒07
 - ②湾小 1分06秒09
 - ③湾小 1分11秒09
- 【6年男子400mリレー】
 - ①湾小 (吉沢凜太郎、龍田優斗、重村陸、山倉光貴) 59秒00
 - ②湾小 1分03秒00
 - ③荒木小 1分04秒01
- 【6年女子400mリレー】
 - ①志戸桶小 (登千慧、操珠里、榮佳恋、福島葵) 1分03秒09
 - ②早町小 B 1分04秒02
 - ③荒木っ子ロングフライ 1分06秒00



接戦となった6年男子ハードル

- 【なわとび】
 - ①志戸桶小 C 67回
 - ②早町小 B 70回
 - ③荒木っ子ロングフライ 73回

第33回老人スポーツ大会開催 坂嶺、2年連続3回目優勝!!

健康増進と生きがいづくりを目的とした、第33回老人スポーツ大会が10月21日、町総合グラウンドで開催された。

結果は次のとおり。

- ①坂嶺、②湾A、③上嘉鉄、④阿伝、⑤荒木、⑥湾B、⑦早町、⑧志戸桶、⑨小野津、⑩滝川

「一発でナイスストライク! 「イッペーホーラサイ」



▲落し物ですよ!



▲坂嶺チーム2連覇達成!!



▲「ウドウラシバーマキランド。ア、ドッコイドッコイ」



▲「ハシツカブーヤ、マキティム・・・」



フルハウスのオーディエンスに沸いた!!
長島稔デビューアルバム発売記念ライブ!!

今年5月に奄美市で開催された「第4回奄美歌謡選手権大会」において、自作曲である「日食」を歌い、最優秀賞に輝いた長島稔さんは、自身初の単独ライブとなる「喜びの島で」を10月4日、ライブハウス「サバニ」で行った。

このライブは、同名のデビューアルバムの発売を記念してのもの。
開場後すぐに立ち見がでるほどの観衆（150人）が押しかけ、開演前には早くも熱気が会場に充満した。



光り輝く我が日食王子
「氷川きよし王子」にも負けません



「相棒」とシャウト!!

勢いよくステージに現れた長島さんに大きな歓声があがるが、祝い事では最初に歌われる定番島唄「朝花」を高らかに歌い出すと水を打ったように会場が静まる。一転して2曲目の「宵の艶華」になると、一気に会場のボルテージは最高潮に達した。
その後もアルバムからの曲が続ぎ、今回は小野津小ダンサーズを従えてのデビュー曲「けらじみかんのうた」やユニットを組む『マグミィ』（今回から三味線担当として重野健一さんも参加）としてのステージもあった。
盛り上がるのうち、予定した最後の曲「喜びの島」を歌い上げると、即座にアンコールの声があがった。

アンコールでは代表曲となった「日食」を『手話サークル mimi』とコラボしてしつとりと歌い、最後は「島の風」で、盛り上がりながらもアットホームなステージを締めくくった。
ライブを終えて長島さんは「お客さんが入るかとても不安だったが、満員になりうれしかった。その反面プレッシャーも感じる。これからはシマをテーマにした唄を島外にも発信したい」と感謝しながらこれからの目標を話した。

やっつ手話はやっつ言葉

手話サークル mimi（依田信代代表）の勉強会が10月14日、中央公民館であった。
同サークルは、9年前に公民館講座の手話教室（濱川幸子講師）が母体となって結成され、現在は毎月第2・4火曜日に学習会を開くなどして活動を続けている。

勉強会では、メンバーは手話と口頭の両方で「こんばんは」とあいさつして教室に集まり、ビデオや教科書を用いて手話の修得に励む。メンバーの全員が手話技能検定5級の資格を持っており、来年の同4級試験の全員合格を目指している。
また、勉強会以外の活動として、今年の喜界町夏まつりでの長島稔さんとのジョイントライブ



手話歌を指導するメンバーたち

ブ（同ページも参照）、小学校などでの手話による童話の読み聞かせなどがあり、聴覚障害者（※他に難聴者、ろう者、失聴者などの表現があるが、ここでは聴覚障害者とする。いずれも差別用語とされていけない）の観光客を案内したこともあるという。

この日の勉強会後も、学習発表会で長島稔さんの「日食」を手話歌にして披露するという坂嶺小学校の児童や保護者が合流して、メンバーから指導を受けた。
手話を学ぶ意義を聞かれた依田さんは「手話には使う人の性格が反映される。顔の表情も豊かになり、やさしい気持ちになれるので、子どもたちにもぜひ学んで欲しい。島外に出た時に誰に対しても偏見なく接することができ、高い公共意識を持つことができるのでは」と答えた。

ギョーザと太極拳で中国語講座受講生の親睦を深める



おかわりはたくさんあるよ

町が主催する公民館講座の中国語講座（砂川福恵講師）は9月20日、中央公民館で受講生の親睦会をした。

親睦会は講師の砂川さんによる島の食材を使った水ギョーザや麻婆豆腐、杏仁豆腐など数種類の中国料理が振る舞われた。その後、腹ごなしとばかりに揃いの表演服に身を包み、太極拳の練習も行った。

親睦会を終えて砂川さんは「中国料理も太極拳も喜界島の人に伝えたい。興味のある人は遠慮しないで声をかけて。中国語ももちろんです」とにこやかに話した。



チビッコも一緒に腹ごなし

**島の発展への功労が認められ
叙勲の栄誉 故吉岡輝邦氏**

町議会議員を3期12年務め、今年の8月に亡くなった故吉岡輝邦氏へ旭日単光章が授与された。このことにより10月7日、加藤啓雄町長が故人宅にて妻のハツエさんにこれを伝達した。

吉岡さんは昭和38年に帰郷し、早町製糖株式会社に勤務したのち細業を営みながら、昭和59年に町議会議員に初当選。文教厚生常任委員副委員長などを歴任し、農業委員も通算2期6年務めるなど、広く町民の尊敬と信頼を得て、本町の発展に大きく寄与した。これらの功労が認められ、今回の叙勲となった。

伝達を受けたハツエさんは「主人も大変喜んでおられると思います。これも皆さんのおかげです。さっそく墓前に報告いたします」と感謝した。



町長から伝達を受けるハツエさん

**節目の還暦を童心に返って
同窓生とふるさとで祝う**



「これほど焼酎のうまい日はない！」

昭和23・24年生まれの同窓生で結成された「ねどし会」による還暦ふるさと大会(柳常雄実行委員会会長)が10月11日、自然休養村管理センターで開催された。

「ハギー、ダンナー。ミシッカラソ、マリーマリー」などの会話があちこちで聞かれ、全



翌日は町体でのパレードも

全国各地から集まった約二百四十人の同窓生が、懐かしい旧友たちと再会した喜びを、ともに分かち合った。

中央線に新型車両(バス)導入

マルエフエリー株式会社喜界営業所(澄田治典所長)は新型車両を導入し10月10日、営業運転に供用した。

今回導入した新型車両は従来の中型バスではなく、トヨタ製の3000ccのバン型車両であり、厳密にはバスに分類されない。また、安全性を高めるために本来の15人乗りを12人乗りに変更して営業運転している。



今回導入した新型車両

地域交通転換事業を担当する役場企画課は、今回小型バスを導入した経緯を「中央線は慢性的に利用者が少なく赤字路線であり、少しでも燃料費などの維持費を軽減させるため。県の補助要件も厳しく、この小型バスになった」と説明する。

また、新型車両について澄田所長は「室内灯がなく夜間使用ができない。乗降口も高く、お年寄り向けではない。経費節減のため利用者にはご理解いただきたい」と話す。

一中駅伝男子5連覇達成!!

奄美大島中学校総合体育大会駅伝競技が10月17日、奄美市笠利町であり一中Aが優勝した。この優勝により、第一中学校(男子)としては5連覇達成の偉業となった。

女子も連覇こそならなかったが、実力を発揮し見事3位に食い込んだ。

また、個人でも選手一人ひとりが活躍し、区間賞には男子が、2区(3キ)の正木勇太君が10分3秒、3区(2キ)の豊直樹君が6分19秒、6区(4キ)の三浦大樹君が13分42秒、女子では、3区(2キ)の岡本夢美さんが7分41秒で、それぞれ輝いた。なかでも、正木君と豊君は区間新記録であった。また、アンカーを任せられた三浦君は前を走る2人を鮮やかに抜き去り、劇的な逆転勝利を演出した。



県大会での健闘も期待される

★新入園児募集について★

☆対象児

平成15年4月2日生から
平成17年4月1日生まで

☆受付日

○湾幼稚園

平成20年12月10日(水)
平成20年12月11日(木)
平成20年12月12日(金)
(3日間)

○湾幼稚園以外

平成20年12月10日(水)
(※一日のみ)

☆受付時間

全幼稚園

14時30分～16時30分

※現在幼稚園に通園されているお子様については受付の必要はありません。
詳しい内容については各幼稚園へお問い合わせください。

各幼稚園への問い合わせ先

湾	65-3006
荒木	65-3037
上嘉鉄	65-2847
滝川	65-2272
早町	66-1236
志戸桶	66-1274
小野津	66-0521

職員等の給与等の状況

喜界町職員等の給与等について、その状況を公表します。

(1) 人件費の状況（一般会計決算）

決算統計資料

区 分	住民基本台帳人口		歳 出 計 (A)	人 件 費 (B)	人件費率 (B/A)
19 年度	8,449 人	(H20.3.31)	5,363,945 千円	1,255,656 千円	23.4%

(注) 人件費には、職員に支給される給料・手当及び共済組合負担金のほか、特別職及び議員、その他非常勤特別職に支給される給料・報酬を含みます。

(2) 職員給与の状況（一般会計決算）

決算統計資料

区 分	職員数 (A)	給 与 費				一人当たりの給与費 (B / A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
19 年度	139 人	525,201 千円	58,908 千円	210,000 千円	794,109 千円	5,713 千円

・参考：H19 年度全職員数 195 人

(3) 職員の平均給料月額・平均年齢の状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

給与実態調査資料

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
喜 界 町	316,200 円	44.4	280,900 円	51.9
国	325,113 円	41.1	284,679 円	48.9

(4) 職員の初任給の状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

給与実態調査資料

区 分		喜 界 町	国
		決定初任給	決定初任給
一般行政職	大学卒	172,200 円	172,200 円
	高校卒	140,100 円	140,100 円

(5) 職員の経験年齢別・学歴別平均給料月額の状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

給与実態調査資料

経験年数		5 ～ 7 年	7 ～ 1 0 年	10 ～ 15 年	15 ～ 20 年	20 ～ 25 年
一 般 行 政 職	大学卒	199,700 円	218,500 円	252,100 円	310,400 円	349,100 円
	高校卒			230,200 円	275,800 円	300,500 円

(6) 職員手当の状況（平成20年度の支給割合）

区分	喜界町 一般職			国の制度との異同		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
	6月期	1.4月分	0.75月分	2.15月分	同	
12月期	1.6月分	0.75月分	2.35月分			
計	3.0月分	1.50月分	4.50月分			
加算措置	職種の級による加算措置あり					

区分	喜界町		国の制度との異同		
	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年	
退職手当	勤続20年	23.5月分	32.76月分	同	30.55月分
	勤続25年	33.5月分	41.34月分	同	
	勤続35年	47.5月分	59.28月分		
	最高限度額	59.28月分	59.28月分		
	その他の加算措置	定年前早期退職(10～73%加算)		定年前早期退職(2～20%加算)	
	退職時特別昇給	なし		同	

(7) 特別職の報酬等の状況（平成20年4月1日現在）

区分	給与	期末手当	
給料	町長	684,900円	(支給割合) 6月期 1.55月分 12月期 1.80月分 計 3.35月分 ※ 加算措置あり
	助役	540,000円	
	収入役	510,300円	
	教育長	510,300円	
報酬	議長	304,000円	
	副議長	251,000円	
	常任委員長	236,000円	
	議員	228,000円	

※ 四役の給料は、特例措置(△10%)後の金額

(8) 部門別職員数の状況（各年4月1日現在、単位：人）

定員管理調査資料

部門	区分	平成19年の職員数	平成20年の職員数	増減	部門	区分	平成19年の職員数	平成20年の職員数	増減
一般行政部門	議会	2	2	0	特別行政部門	学校関係	13	13	0
	総務	28	31	3		学校以外	20	21	1
	税務	7	7	0		小計	33	34	1
	民生	17	8	△9	公営企業等	病院(診療所)	13	7	△6
	衛生	19	20	1		上水道	5	6	1
	農林水産	25	26	1		国保	3	5	2
	商工	0	0	0		介護	3	5	2
	土木	10	11	1		介護(特養)	30	25	△5
	小計	108	105	△3		後期高齢者	0	1	1
※教育長を除く					小計	54	49	△5	
					総計	195	188	△7	

本年度から「地域における家庭教育支援基盤形成事業」がスタート!

■事業の目的

少子化や核家族化の進展、地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭教育力の低下が指摘される中で、社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まっています。

そこで、家庭教育力の向上を図るため、身近な地域において子育てサポーターリーダー等で構成する「家庭教育支援チーム」を設置し、情報や学習機会の提供、相談体制の充実をはじめとする、きめ細かな家庭教育支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進いたします。

■支援チームの役割

「しつけ」など、子育てで悩んでいる保護者へより確かな子育てのための相談に応じます。

■支援チーム名簿

- 湾 武田 洋子
- 湾 岩田 進
- 湾 宜名真孝子
- 湾 岡村ひとみ
- 湾 重野 泰介

- 赤連 平久美子
- 赤連 中村 勝子
- 白水 永房枝
- 上嘉鉄 原口 律子
- 早町 米盛 照代
- 羽里 豊 晋治
- 荒木 上原慶三郎
- 池 治 武田 満雄

※支援員は、皆さんが自ら出向くことが出来なければ、希望により自宅にも訪問もいたします。また、交通手段等でお悩みの方は、遠慮なく申し出てください。詳しくは、教育委員会生涯学習課（65）1111までご連絡ください。

12月4日～10日は「人権週間」

すべての人々が幸せに生きるためには、様々な人権問題を正しく理解し、その解決に取り組むとともに、諸人権問題を通して、自分自身や家族、まわりの人の人権についても認識を深め、あらゆる人の人権が尊重される社会を目指す必要があります。

「世界人権宣言」が昭和23年12月10日の国連総会において採択され、わが国では12月4日

10日までの1週間を「人権週間」と定めています。今年是世界人権宣言60周年にあたり、これを記念して国内外で様々なイベントが行われています。住みよい喜界島にするためにも一人一人の人権が尊重される社会を実現しましょう。

第14回喜界町生涯学習推進大会実践事項

第5分科会
〈美しいふるさと環境部会〉

【実践事項】
やみごみを捨ててポイ捨てを減らし、ゴミを減らすために、買い物袋の再利用を心がけ、ゴミの量を減らします。

今月号は、第5分科会で決定した実践事項を掲載いたしました。

美しい島（ふるさと）を後世に残すことは、私たちに課せられた責務です。マイバック運動や花一杯運動、毎月第3日曜日のふるさと美化活動など町民一体となつて取り組みましょう。

平成二十年度「喜界町家庭学習サポート教室」『やる気塾』前期終了!

十月十九日（日）に、平成二十年度「喜界町家庭学習サポート教室『やる気塾』」の前期（四～十月）が終了し、閉校式が行われました。

「やる気塾」は、小学四年～六年、中学生、高校生を対象に、行事等のない日曜日に七回設定し、十四時～十七時まで学習を進めます。また、指導者は町内の小・中・高等学校の先生方や町教育委員会職員がボランティアで行っています。

前期のやる気塾には、小学四年生三十名、五年生十五名、六年生十八名、中学生五十五名、高校生二名の計百二十名が参加しました。

閉校式では、教育長が一人一人に修了証書を手渡ししました。修了証書ももらい、児童生徒代表あいさつをした喜界町立小野津小学校五年生の



修了証書を受け取った子どもたち

直島瀬那さんのあいさつ文は左記の通りです。

「私は四年生からずっとやる気塾に通っています。はじめの頃は自分の宿題ばかりやっていたので宅習をするようになってきました。これはやる気塾のおかげだと思えます。また、やる気塾で私が楽しいと思うことは、先生方の授業です。特に楽しかった授業は、図工のマープリングです。マープリングした紙をラミネートしてしおりを作りました。これはいい思い出になりました。次に楽しいことは、他の学校の友達ができることです。いつも友達が出来ないかなあと思ってたワクワクします。勉強が分らないときは、友達によく相談することができると、勉強も楽しくなります。後期もぜひやる気塾に通いたいです。」

後期は、十一月九日（日）から十二月二十二日（日）まで行われます。



民生委員・児童委員活動たより No.1



高齢化・少子化時代において、地域における民生委員・児童委員活動が重要になっており、町内には37人の民生委員・児童委員と2人の主任児童委員が国と県の委嘱されています。

民生委員・児童委員は、地域の皆さんの協力のもとに、一人暮らし高齢者の見守り活動や災害時の避難対策、地域における児童の健全育成などについて取り組んでいます。これらの活動をより良くするためには、担当地域内の住民の皆さんの声を聞き、住民の困っている実態を把握する必要があります。

これから、広報きかいを通じて民生委員・児童委員の活動内容などを紹介し、地域のご理解をいただきながら活動の輪を広げたいと考えております。もし、相談事などがあれば、地域の民生委員・児童委員に気軽に声をかけてください。

また、民生委員・児童委員協議会では、毎月の定例会を開催しています。定例会では各委員の活動記録の提出、事例発表、講師による研修会等をおこなっています。

今回は、定例会の内容について紹介したいと思います。

奄美警察署より 被害相談窓口のご案内

『11月25日(火)～12月1日(月)は「犯罪被害者週間」です』

ひとりでお悩みではありませんか。

困っていること、不安なこと、手助けの必要なことなど、あなたの心の扉を開いて、何でもお気軽にご相談ください。被害者の方はもちろん、ご家族やご友人からのご相談も受け付けています。

また、警察だけでは対応できないことについては、専門の機関をご紹介しますので、どこに相談したらよいかわからない場合にも、警察の相談窓口をご利用ください。

秘密は守ります。

私たちは、あなたとご家族が安心して暮らせるように、支援致します。

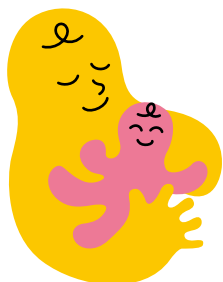
【警察の相談窓口】

- 奄美警察署 (警察安全相談係)
TEL: 0997-53-0110
(内線224)
- 警察総合相談電話
TEL: 099-254-9110
- 性犯罪被害110番 なやむな
TEL: 099-206-7867
- 企業対象暴力相談電話
TEL: 099-255-0110
- ヤングテレホン ふこうに なやむな
TEL: 099-252-7867
- 生活経済相談電話
TEL: 099-258-7940

【警察以外の相談窓口】

- 社団法人かごしま犯罪被害者支援センター
TEL: 099-226-8341
- 鹿児島県犯罪被害者等支援総合窓口
TEL: 099-286-2523
- 鹿児島県暴力追放運動推進センター
TEL: 099-224-8601
7/24ダイヤル 0120-491581
- 鹿児島県交通安全活動推進センター
TEL: 099-269-4493

児童虐待防止月間



『助けての小さなサイン受け止めて』

11月は児童虐待防止推進月間です。「おかしい」と感じたり児童虐待を発見したときは、児童相談所(53-6070)、福祉事務所(65-0114)、役場保健福祉課(65-1111,内線37)、に相談(通告)してください。

通告は義務=権利です。

あなたも児童虐待防止ネットワークの一員です。



シマの入り江と潮だまり

中里編

釣りや漁り（イザリ）を趣味としなくても、子どもの頃にゴツゴツしたサンゴの海岸線で、細かく入り組んだミジュ（溝）やフムリンカー（小さな潮だまり）を跳び越えながら遊んだ記憶を、誰しも持っているのではないだろうか。

喜界島は海に囲まれており、古来より人々の暮らしは海と密接に関わっていた。したがって、小さな入り江にも名前が付けられている（畑に名前があることと同様）。

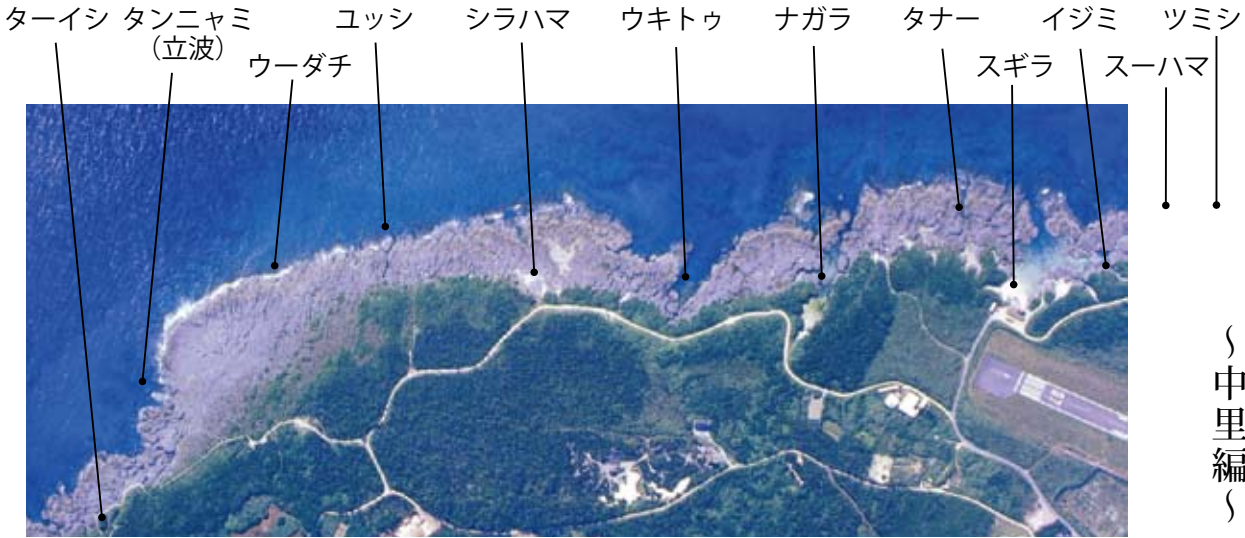
人々は、そんな「海」を畏怖し、慈しみ、親しんでいたことは想像に難くない（ウフミが良く釣れる場所、アーサーやマッターが良く生える場所などは、さらに細かく名前付けがされていたのでは）。

港湾工事などにより姿を変えた入り江もあるが、国有地である海岸線は、その姿を変えることは少ない。

今月号から、そんな各集落の入り江や潮だまりの名前を紹介する。

ご存知の各集落の入り江や潮だまりに関する言い伝えや行事等があれば、企画課までお知らせください。

連絡先 65・1111（内線23）



（写真は「空から見るわがまち」より）

言いつ伝えなごころ

ナガラ（長良）

以前は「トゥンニヤー」という行事が行われていた。トゥンニヤーとは、シヤミ（節浴び）の日から7日目に行われ、親子連れで弁当やクリハーを持参し、子どもたちは年齢に応じて、高さの違う一番鼻から三番鼻までの高台から飛び込み、登る途中の岩穴に男子はフンドシ（後にパンツ）を、女子は腰巻きを絞って、水がいつぱいになるまで繰り返す続けるもの。水がいつぱいになれば、その年は豊作になるといわれ、親たちは声援を送り、子どもたちは恐くても寒くても我慢して飛び込み続けたという。

もともと豊年祭のひとつであり、農家が少なくなつたことと、安全性が優先される今の時代では、廃れてしまつて久しい。

また、大昔に花良治の漁船がナガラで遭難した。その際に、イザリにきていたナートウメーラビが遭難者を介抱したという言い伝えもある。これ以降、中里と花良治はよく交流したという。

そのためであろうか、他集落と比べ特異性がある中里の言葉であるが、花良治

の言葉と似る点が多いといわれる。

前述のトゥンニヤーが行われるきっかけになったとも伝えられる。（賀村幸之助著「民話と明治の偉人」より）

今より深かった頃は、2月中旬から3月にかけてサクチ（大型のボラ）やサジ（ヒラアジ類）が入り込み、容易に網で捕れたという。

ツミシ（積石）

昭和4年から6年にかけて今の滑走路に「海軍不時着飛行場」ができた。当時の格納庫はコンクリートではなく、石垣を高く積み上げていた。その石を切り出したのはツミシやスギラの海岸である。切り出す前は大きな岩山であったため、天然の防潮堤になつており波も上がらなかつたという。また当時、飛行場建設の3年間は、雇用があり中里を中心に大いに活気をもたらした。しかし数年後にその飛行場のために中里周辺が壊滅状態になつたことは皮肉である。

スギラ

その昔、大島から若い男女がスギラに漂着した。既に臨月であった女は女児を出産し、夫婦仲良く暮らしていた。そんな幸せも束の間、スギラのとりにあるイジミ（真水が出る泉）で洗濯をしていた母子は、突

然の岩崩れの下敷きになり死んでしまう。それ以来、スギラでは赤子の泣き声がするといわれ、ウトウルシードー（恐い場所）と呼ばれて戦前までは利用者がいなかった。

今は多くの海水浴客でにぎわうスギラビーチ。このような悲しくも恐ろしい言い伝えがあつたことは、きれいに整備された今の姿からは想像すらできない。

スーハマ（汐浜）

むかしは塩をとっていたためこの名が付いた。スギラをこわがる子どもたちは、もつぱらここで遊んでいたという。

シラハマ（白浜）

以前はその名のとおり美しい白浜であったが、潮の変化からか面影はない。その当時はハマゴボウが群生していたという。シマでは食感や匂いが本物のゴボウのような根を食すが、種子島では葉も食するという。

ウキトウ（沖戸）

入り江内には大きな岩があり、戸のように外海と仕切られているためこの名が付いたという。

ユッシ（寄瀬）

色々な物が漂着する場所であり、台風後は打ち上げられた魚を求める集落民の姿があつたという。

※すべて賀村幸之助氏（中里）からの聞き取り

喜界歌壇

長月の一日を部屋に籠らへば
やをら癒せる諸蟬の声

嶺倉 祝子

まろき頬涼しき眼して血圧計巻
きくれしナース白衣凛々しき

北島 シナ

八人の孫子帰省しにぎわしく独
り居の吾が住み処の狭し

有村 道子

俄雨したたか降れば軒近く百日
紅の花紅く散りつぐ

平尾 チヨ

薄明かる石油ランプを頼りとし
大島袖織りしは我のひとこま

屋良ミノ子

長月の菊風呂めでし平安人を真
似て今宵は湯船に浸る

美代 イシ

紅葉なき喜界島は一望キビ畑秋
風に白き穂並揺れいる

郡 市子

九月なれど暑さ酷しき島の野に
キビ植えのトラクターおちこち

響く 弥島 幸子

台風の少なき年と思いに九月
に入りて吾が故郷襲う

武田 幸子

虚ろなる心を満たす筆の跡亡夫
の手帳を読みゆく日中

林 蓮香

戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

氏名	保護者	住所
松元 藍来	正和	中里
保崎 聖香	光一	湾
山口 凛華	透	湾
堤 凧	拓馬	赤連

ごめい福を
お祈りします

住所	氏名	年齢
志戸桶	向エカ	99才
早町	早川哲	76才
白水	清水真之兒	64才
佐手久	美島忍	68才
島中	登山健雄	75才
志戸桶	梅原賢二郎	88才

■老人ホーム「喜界園」への寄附
奄美信用組合

社協だより

■香典返し(敬称略)

早町 早川 子工

● 喜界町の推計人口 ●
(平成20年10月1日現在)

世帯数	3,760戸 (0)
人口	8,246人 (-7)
男	3,927人 (-2)
女	4,319人 (-5)

2009年7月22日
一生に一度の皆既日食まで
あと **254** 日
(2008年11月10日現在)




「島バナナも食べ頃です」
写真提供：喜界島おみやげセンター

広告の窓

町内・町外(島出身者に限る)の事務所や店舗などをお持ちの皆さま、町の広報やホームページに広告を掲載して会社やお店のPRをしませんか。
▶問い合わせ 役場企画課 ☎0997-65-1111

ふるさとに感謝をこめて・・・

交流とチャリティーの喜界島公演

関西・喜界島の<島唄・民舞の大共演>

日 時：2008年12月7日(日)
◆開演：13時 ◆開場：12時

会場：喜界町立第一中学校 体育館

入場整理券：1000円(小学生以下無料)

販売場所：喜界町役場企画課・生涯学習課・文化協会・各集落区長・商工会協力店

お問合わせ：喜界町役場企画課・生涯学習課 0997-65-1111
関西奄美民謡芸能保存会 里井会長 090-2381-3449
森幹事長 090-3658-0212
徳野相談役 090-8234-5292

主催：関西奄美民謡芸能保存会
共催：喜界町
後援：関西奄美会・関西喜界町郷友会・喜界町文化協会喜界町社会福祉協議会・南海日日新聞社・奄美新聞社
協賛：(株)エクスプレストラベル・(有)レインボートラベルサービス・パナウルライフサービス

10-11
月

島に咲く花



オオゴチヨウ (大胡蝶・黄胡蝶)

マメ科であり、ネムノキやホウオウボクと似る。沖縄三大名花（他にデイゴ、サンタンカ）に数えられ、沖縄ではよく見受けられる。咲き誇る様は、まさに蝶が乱舞しているようである。「美しい花にはトゲがある」といわれるように幹にするどいトゲがあるので注意。花ことばは不明。



ベンガルヤハスカスラ

城久公園にて。インド・ベンガル地方原産の大型常緑つる性の多年草。沖縄などでは、ブロックの塀やフェンスに這わして緑だけでなく花を觀賞する。うすい秋空色の花を咲かせ、藤のように長く垂れ下がり次々と開花する。特に春と秋に満開となる。花ことばは不明。

サンタンカ (山丹花)

ムチャカナ公園にて。アカネ科。サンタンカ（三段花）とも呼ばれる。オオゴチヨウと同じく沖縄三大名花。マレー半島が原産であり、江戸中期に琉球へ入ってきた。その後、品種改良が重ねられ多数の品種がある。写真は園芸種で「ベニテマリ（紅手鞠）」である。花ことばは「謹厳」「張り切る」。



ギョボク (魚木)

フウチョウソウ科は約900種もあるが、日本に自生するのはこの種だけである。材質が軽く加工しやすいため、古くから魚釣りの疑似餌に利用されたことが名前の由来であり、木魚に利用されたわけではない。「幸せを呼ぶチョウ」ともいわれるツマベニチョウ（棲紅蝶）の食樹（幼虫のエサ）としても有名。花ことばは不明。



今月の
わんこ
こんげつのわんこ

せい生 メリーさん
ミックス
阿伝 3才

「私は赤ちゃんの頃にジーナ母さんに拾われました。まだ嫁入り前ですが、なんとママになったんです。同じ家の猫さんが赤ちゃんを産んだのに子育てをしないから、私が出ないおっぱいをあげています。子どもを産んだこともないのに母性本能があるなんて自分でもビックリです。クビをくわえて安全なところに運んだり、なめてあげたりしていると、とっても幸せなのです」。

編集後記

教育文化講演会（5ページ参照）でのこと。あいさつに立った晴永教育長は「今日、ミーニシ（新北風）が吹きました」と話された。

少なからずシヨックを受けた。季節の変わり目がはつきりしないシマにあつて、「ミーニシ」は特に象徴的なことであるにもにかかわらず、全く気づかなかつたのだ。

シマの偉大なる先人達は、十干十二支を守りながら、シチャミヤフンミー、豊年祭などの様々な年中行事をした。それは日常生活のなかから生まれ、五穀豊穡や無病息災を願うものである。また、先人達は生命が誕生してから罷（まか）る（マリーリする）までに、数々の「ナリク（ならわし）」を用意した。そして衣食住はすべて自ら作り、そのための生地、農機具や漁網も同様であった。子どもたちのマンメータレー・馬糞とりなども貴重な労働力だった。まさに先人たちの生活は「生涯学習」そのものであった。

なぜ、月毎のシマの姿を追うべき私は、ミーニシに気づかなかつたのだろうか。ウヤフジに申し訳ない思いだ。

取材を終えて外へ出た。北から吹くその風を浴びてみると、まさしく前日までと違い、確かに冷たかつた。（植村）